

平成 22 年度

# 一般廃棄物処理の現況

(平成 24 年 2 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課



# 目 次

## I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量.....	1
(2) 各地区の状況.....	2
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 全県の状況.....	4
(2) 各地区の状況.....	5
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 全県の状況.....	9
(2) 各地区の状況.....	10
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 全県の状況.....	23
(2) 各地区の状況.....	24
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置 .....	28
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口.....	33
(2) し尿処理の状況.....	34
(3) し尿処理施設.....	35
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	36
(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	36
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要.....	36
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	40
7-3 委託・許可件数.....	40
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	40
8. ダイオキシン類対策等の状況 .....	41



# I 概要編



# 1. ごみ処理の概要

## (1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1 に、計画収集人口の割合を図 1-2 に示す。

平成 22 年度における県内のごみ総排出量は 242,161t であり、前年に比べ約 1.8%の増加となっている。

計画収集人口は 719,717 人で総人口の 99.7%となっている。1 人 1 日当たりごみ排出量は 919g で、前年より 24g 増加している。

ごみ総排出量及び 1 人 1 日当たりごみ排出量は減少傾向が続いていたが、平成 22 年度は増加している。

表1-1 ごみ排出量と処理の推移

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
総人口(人)	744,794	739,982	732,013	728,413	722,177
計画収集人口	742,403	737,579	729,645	725,900	719,717
自家処理人口	2,391	2,403	2,368	2,513	2,460
計画収集率(%)	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7
ごみ総排出量(t/年)	272,881	255,790	241,355	237,847	242,161
計画収集量	216,204	206,292	195,999	192,308	210,928
直接搬入量	54,286	47,115	42,911	43,187	28,938
集団回収量	2,391	2,383	2,445	2,352	2,295
ごみ総処理量(t/年)	269,584	253,383	239,034	234,430	239,738
直接焼却	170,346	167,034	163,595	160,545	159,726
焼却以外	79,564	79,911	70,148	66,987	72,818
直接埋立	19,674	6,438	5,291	6,898	7,194
1人1日当たり ごみ排出量 (g)	1,004	944	903	895	919
災害廃棄物 (t/年)	(997)	-	-	-	-

注) 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の内数

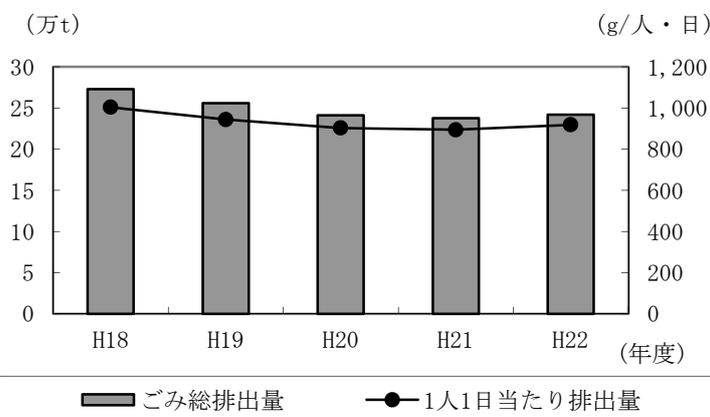


図1-1 ごみ総排出量の推移

注) ごみ総排出量 (t/年) = 計画収集量+直接搬入量+集団回収量

ごみ総処理量 = 直接焼却+焼却以外+直接埋立量

1 人 1 日当たりごみ排出量 (g/人・日) = ごみ総排出量/総人口/365 日 (366 日) ×10<sup>6</sup>

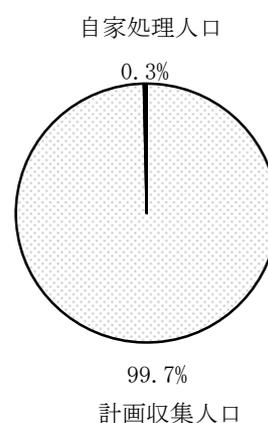


図1-2 計画収集人口の割合

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

#### ①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。平成 22 年度末に焼却施設の更新を行った。

#### ②東出雲町

可燃ごみ処理は、松江市に委託している。

#### ③安来市

可燃ごみ処理は、平成 19 年 4 月 25 日より焼却施設を休止し、民間業者へ委託処理している。

当地区のごみ総排出量は 89,669t、処理量合計は 89,377t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 984g と県平均の 919g を上回っている。

### <出雲地区>

#### ①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ②雲南市，飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町、旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村、旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

#### ③出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ④斐川町

可燃ごみ処理は、出雲市に委託している。

当地区のごみ総排出量は 77,405t、処理量合計は 75,960t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 893g と県平均の 919g を下回っている。

### <浜田地区>

#### ①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

#### ②川本町，美郷町，邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

#### ③浜田市，江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

#### ④益田市，津和野町，吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区のごみ総排出量は 64,936t、処理量合計は 64,250t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 836g と県平均の 919g を下回っている。

<隠岐地区>

①隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 10,151t、処理量合計は 10,151t であり、1 人 1 日当たり  
ごみ排出量は 1,255g と県平均の 919g を大きく上回っている。

表 1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	249,731	237,506	212,777	22,163
計画収集人口	249,731	236,193	211,630	22,163
自家処理人口	0	1,313	1,147	0
計画収集率(%)	100.0%	99.4%	99.5%	100%
ごみ総排出量(t/年)	89,669	77,405	64,936	10,151
計画収集量	81,838	68,613	55,960	4,517
直接搬入量	7,540	7,347	8,417	5,634
集団回収量	291	1,445	559	0
ごみ総処理量(t/年)	89,377	75,960	64,250	10,151
直接焼却	54,957	50,255	46,159	8,355
焼却以外	32,724	20,972	18,041	1,081
直接埋立	1,696	4,733	50	715
1人1日当たり ごみ排出量 (g)	984	893	836	1,255

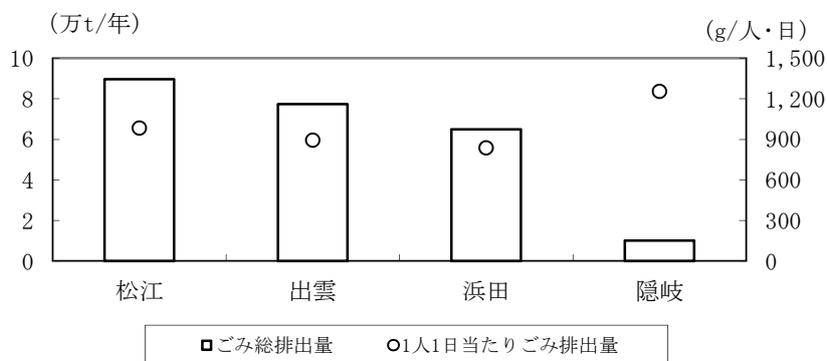


図1-3 ブロック別ごみ排出量

## 2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

### (1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

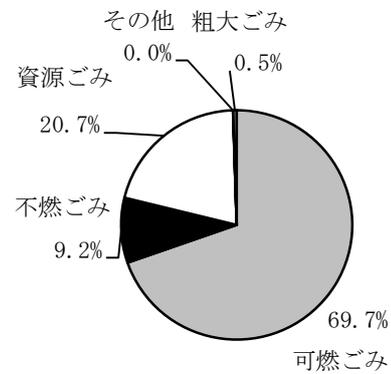
平成 22 年度に市町村から排出されたごみ量は 242,161t であり、収集内訳は、可燃ごみ 69.7%、不燃ごみ 9.2%、資源ごみ 20.7%、粗大ごみ 0.5%、その他は 0.1%未満であった。

処理内訳では、159,726t(66.6%)は直接焼却され、72,818t(30.4%)は破砕・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの 7,194t(3.0%)は直接埋立とされている。

県全体で 55,427t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 57,722t が資源化された。

表 2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

県全体		平成22年度
計画収集量		210,928
収集内訳	可燃ごみ	146,924
	不燃ごみ	19,356
	資源ごみ	43,571
	その他	26
	粗大ごみ	1,051
直接搬入量		28,938
集団回収量		2,295
総排出量		242,161
自家処理量		607
処理内訳	中間	
	直接焼却	159,726
	焼却以外	72,818
	最終処分	
	直接埋立	7,194
	焼却残渣	13,530
	破砕圧縮残渣	11,743
資源化		55,427
処理合計		239,738
リサイクル率 (%)		23.8
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		919



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-1 ごみの収集内訳

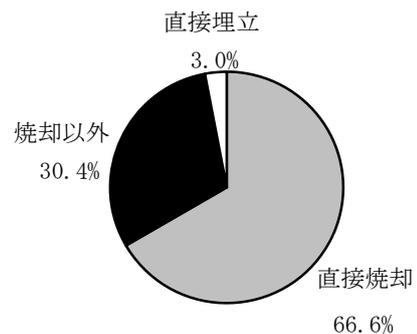


図2-2 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

## (2) 各地区の状況

### < 松江地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

平成 22 年度に当地区内から排出されたごみ量は 89,669t であり、収集内訳は、可燃ごみ 60.8%、不燃ごみ 9.8%、資源ごみ 28.7%、粗大ごみ 0.7%であった。

処理内訳では、54,957t (61.5%) が直接焼却され、32,724t (36.6%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの 1,696t (1.9%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 23,796t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 24,087t が資源化された。

表 2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

松江地区		平成22年度	
計画収集量		81,838	
収集内訳	可燃ごみ	49,763	
	不燃ごみ	7,995	
	資源ごみ	23,486	
	その他	0	
	粗大ごみ	594	
直接搬入量		7,540	
集団回収量		291	
総排出量		89,669	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	54,957
		焼却以外	32,724
	最終処分	直接埋立	1,696
		焼却残渣	5,379
		破碎圧縮残渣	5,170
	資源化		23,796
	処理合計		89,377
リサイクル率 (%)		26.9	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		984	

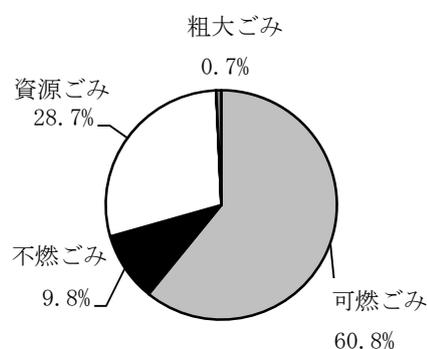


図2-3 ごみの収集内訳

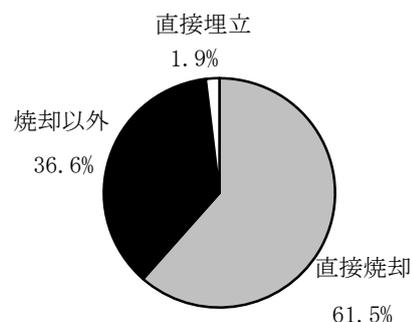


図2-4 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-3、ごみの収集内訳を図 2-5、ごみの処理内訳を図 2-6 に示す。

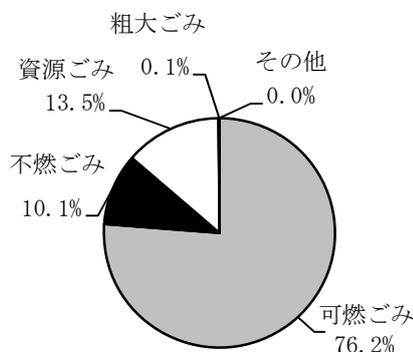
平成 22 年度に当地区内から排出されたごみ量は 77,405t であり、収集内訳は、可燃ごみ 76.2%、不燃ごみ 10.1%、資源ごみ 13.5%、粗大ごみ 0.1%、その他 0.1% 未満であった。

処理内訳では、50,255t (66.2%) が直接焼却され、20,972t (27.6%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 4,733t (6.2%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 16,128t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 17,573t が資源化された。

表 2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

出雲地区		平成22年度	
計画収集量		68,613	
収集内訳	可燃ごみ	52,314	
	不燃ごみ	6,928	
	資源ごみ	9,296	
	その他	26	
	粗大ごみ	49	
直接搬入量		7,347	
集団回収量		1,445	
総排出量		77,405	
自家処理量		340	
処理内訳	中間	直接焼却	50,255
		焼却以外	20,972
	最終処分	直接埋立	4,733
		焼却残渣	4,413
		破碎圧縮残渣	2,095
	資源化		16,128
	処理合計		75,960
リサイクル率 (%)		22.7	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		893	



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-5 ごみの収集内訳

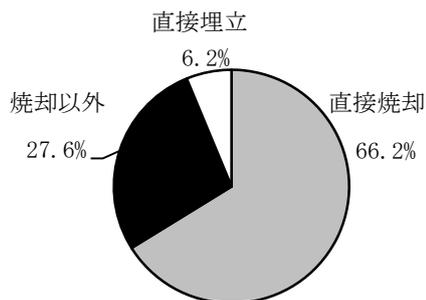


図2-6 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-4、ごみの収集内訳を図 2-7、ごみの処理内訳を図 2-8 に示す。

平成 22 年度に当地区内から排出されたごみ量は 64,936t であり、収集内訳は、可燃ごみ 73.3%、不燃ごみ 7.5%、資源ごみ 18.6%、粗大ごみ 0.6%であった。

処理内訳では、46,159t(71.8%)が直接焼却され、18,041t(28.1%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 50t(0.1%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 14,841t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 15,400t が資源化された。

表 2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

浜田地区		平成22年度	
計画収集量		55,960	
収集内訳	可燃ごみ	41,010	
	不燃ごみ	4,177	
	資源ごみ	10,418	
	その他	0	
	粗大ごみ	355	
直接搬入量		8,417	
集団回収量		559	
総排出量		64,936	
自家処理量		267	
処理内訳	中間	直接焼却	46,159
		焼却以外	18,041
	最終処分	直接埋立	50
		焼却残渣	2,270
		破碎圧縮残渣	4,144
	資源化		14,841
処理合計		64,250	
リサイクル率 (%)		23.8	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		836	

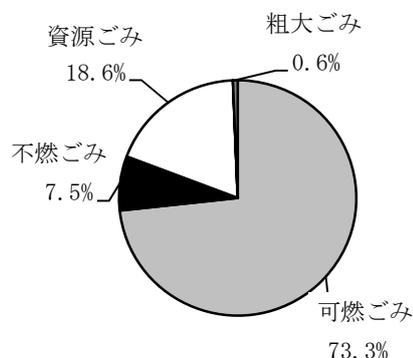


図2-7 ごみの収集内訳

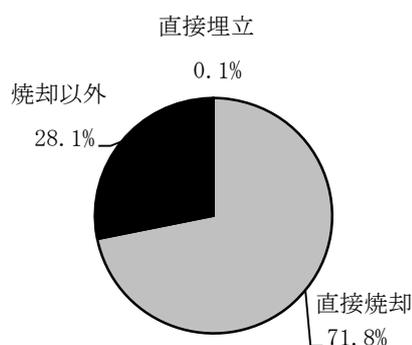


図2-8 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100  
 処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

< 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

平成 22 年度に当地区内から排出されたごみ量は 10,151t であり、収集内訳は、可燃ごみ 84.9%、不燃ごみ 5.7%、資源ごみ 8.2%、粗大ごみ 1.2%であった。

処理内訳では 8,355t(82.3%)が直接焼却され、1,081t(10.6%)は破碎・圧縮等焼却以外  
の中間処理、残り 715t(7.0%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 662t がごみから分別・資源化された。

表 2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

隠岐地区		平成22年度	
計画収集量		4,517	
収集内訳	可燃ごみ	3,837	
	不燃ごみ	256	
	資源ごみ	371	
	その他	0	
	粗大ごみ	53	
直接搬入量		5,634	
集団回収量		0	
総排出量		10,151	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	8,355
		焼却以外	1,081
	最終処分	直接埋立	715
		焼却残渣	1,468
		破碎圧縮残渣	334
	資源化		662
処理合計		10,151	
リサイクル率 (%)		6.5	
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,255	

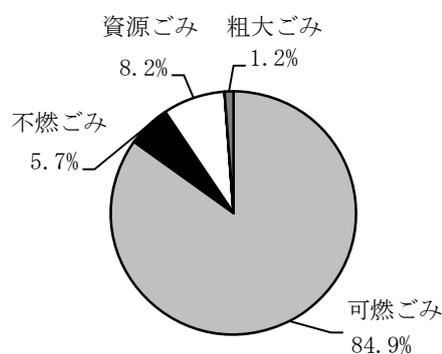
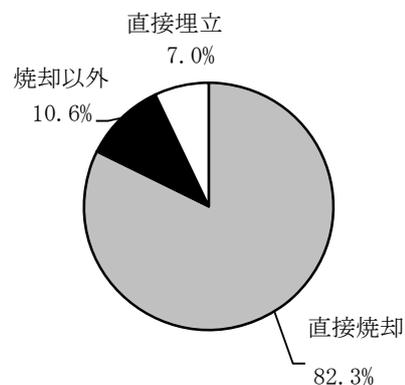


図2-9 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-10 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100  
処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

### 3. ごみ処理施設の状況

#### (1) 全県の状況

平成 22 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は 10 施設(処理能力 708.56 t/日)、ごみ燃料化施設は、1 施設(処理能力 30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は 2 施設、資源化等施設は 22 施設、粗大ごみ処理施設は 13 施設、保管施設は 14 施設である。

埋立中の最終処分場は 33 施設あり、全体埋立容量は 2,043,666<sup>m<sup>3</sup></sup>、残余容量は 660,972.5 <sup>m<sup>3</sup></sup>となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 <sup>※1</sup>	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	10	708.56	—
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	22	245.87	—
粗大ごみ処理施設	13	248.9	—
保管施設	14	23,620(t/年度) <sup>※2</sup>	—
最終処分場	33	2,043,666 (m <sup>3</sup> )	660,972.5 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 22 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化熔融	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ	全連続		
炉型式	全連続	バッチ	全連続		
施設数	1	6	3	1	11
規模 (t/日)	62	75.56	571	30	738.56

※ごみ燃料化施設 (RDF) 及びガス化熔融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市・東出雲町

松江市・東出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は平成22年度に既存の2施設稼働休止し、新たに1施設(処理能力255t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は8施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は9施設あり、全体埋立容量は818,452m<sup>3</sup>、残余容量は149,066m<sup>3</sup>となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	255	—
資源化等の施設	8	106.7	—
粗大ごみ処理施設	1	59	—
保管施設	3	13,354(t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場 <sup>※2</sup>	9	818,452(m <sup>3</sup> )	149,066(m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成22年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	南工場(休止)	112.5	焼却	全連続
	北工場(休止)	200	焼却	全連続
	(仮称) 新ごみ処理施設	255	ガス化溶融	全連続

※1. 南工場、北工場は平成23年1月より休止中。

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-5、6に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力52t/日)で平成19年4月25日より休止中である。

粗大ごみ処理施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は99,304m<sup>3</sup>、残余容量は55,301m<sup>3</sup>となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H23.3月末)
粗大ごみ処理施設	3	30.9	—
最終処分場	3	99,304(m <sup>3</sup> )	55,301(m <sup>3</sup> )

表3-6 焼却施設の状況(休止中)

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来市	清瀬クリーンセンター	52	焼却	准連続

※1. ごみ焼却施設は平成19年4月25日より休止中。

## <出雲地区>

### ①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-7、8に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は31,360m<sup>3</sup>、残余容量は5,500m<sup>3</sup>となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	20	—
粗大ごみ処理施設	1	7	—
保管施設	1	200(t/年度) <sup>*1</sup>	—
最終処分場 <sup>*2</sup>	1	31,360(m <sup>3</sup> )	5,500(m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成22年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-9～11に示す。

雲南市のうち旧大東町、旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村、旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m<sup>3</sup>、残余容量は27,312m<sup>3</sup>となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	557(t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場	3	41,300 (m <sup>3</sup> )	27,312 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成22年度保管量である。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいしクリーンセンター	15	圧縮・梱包

③出雲市・斐川町

出雲市・斐川町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-12、13 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 218 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 3 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、全体埋立容量は 528,231m<sup>3</sup>、残余容量は 296,825m<sup>3</sup>となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	2	75	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	2	6,381(t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場 <sup>※2</sup>	4	528,231 (m <sup>3</sup> )	296,825 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成 22 年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は 3 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 112,648m<sup>3</sup>、残余容量は 7,010m<sup>3</sup>となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	3	11	—
粗大ごみ処理施設	1	25	—
保管施設	3	1,458 (t/年度) <sup>*</sup>	—
最終処分場	3	112,648 (m <sup>3</sup> )	7,010 (m <sup>3</sup> )

<sup>\*</sup>保管施設の処理能力は、平成 22 年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-16、17に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力12t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は14,300m<sup>3</sup>、残余容量は6,735m<sup>3</sup>となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	1.7	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	821(t/年度)*	—
最終処分場	1	14,300 (m <sup>3</sup> )	6,735 (m <sup>3</sup> )

\*保管施設の処理能力は、平成22年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	笹畑クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-18、19 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)による処理を行っている。

資源化等施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 136,200m<sup>3</sup>、残余容量は 16,214m<sup>3</sup>となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	98	—
資源化等の施設	2	10.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場※	3	136,200 (m <sup>3</sup> )	16,214(m <sup>3</sup> )

※埋立が終了した施設は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域行政組合	エコクリーンセンター	98	ガス化溶融(シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-20、21に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は156,871m<sup>3</sup>、残余容量は29,533m<sup>3</sup>となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	62	—
資源化等の施設	2	22.1	—
保管施設	1	805(t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場 <sup>※2</sup>	3	156,871 (m <sup>3</sup> )	29,533 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成22年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62	焼却	全連続

<隠岐地区>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

海士町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 7t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 12,000m<sup>3</sup>、残余容量は 8,699m<sup>3</sup>となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	44 (t/年度)*	—
最終処分場	1	12,000 (m <sup>3</sup> )	8,699 (m <sup>3</sup> )

\*保管施設の処理能力は、平成 22 年度保管量である。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町清掃センター	7	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-24、25 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 13,000m<sup>3</sup>、残余容量は 4,114m<sup>3</sup>となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	10	—
最終処分場	1	13,000 (m <sup>3</sup> )	4,114 (m <sup>3</sup> )

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	清美苑	10	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	1.56	—

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知 夫 村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-28、29に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力25t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は80,000m<sup>3</sup>、残余容量は54,664m<sup>3</sup>となっている。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H23.3月末)
ごみ焼却施設	1	25	—
資源化等の施設	1	2.7	—
最終処分場※	1	80,000 (m <sup>3</sup> )	54,664 (m <sup>3</sup> )

※埋立が終了した施設は含まない。

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

#### 4. ごみ減量化・資源化状況

##### (1) 全県の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

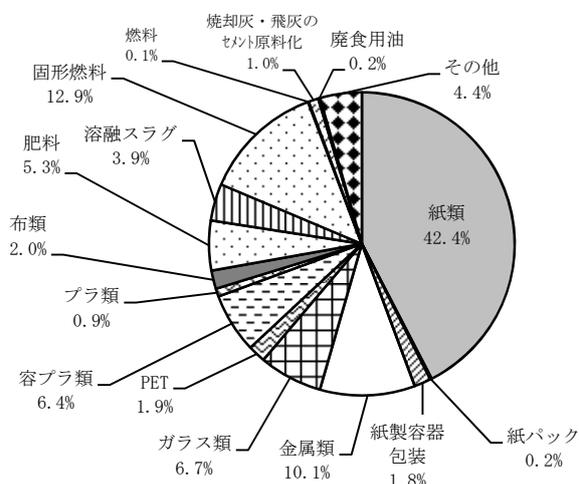
平成22年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は55,427tであった。その内、紙類が23,528t(42.4%)で最も多く、次に、固形燃料7,128t(12.9%)、金属類5,577t(10.1%)であった。

また、集団回収により資源された量は2,295tであり、紙類が2,025t(88.2%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

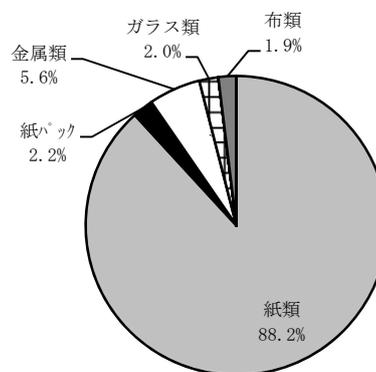
区分	紙類	紙バック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	23,528	88	976	5,577	3,714	1,044	3,521	472
集団回収	2,025	51	0	128	47	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	1,085	2,939	2,176	7,128	56	567	112	2,444	55,427
集団回収	44	0	0	0	0	0	0	0	2,295



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-2 集団回収の内訳

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3、集団回収の内訳を図4-4に示す。

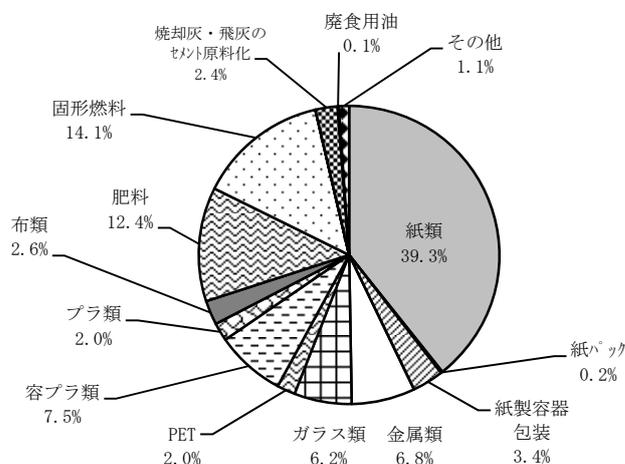
平成22年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は23,796tであった。その内、紙類が9,362t(39.3%)で最も多く、次に、固形燃料3,344t(14.1%)、肥料2,939t(12.4%)であった。

また、集団回収により資源化された量は291tであり、紙類が244t(83.8%)とほとんどを占めている。

表4-2 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	9,362	44	799	1,627	1,474	466	1,787	469
集団回収	244	47	0	0	0	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	626	2,939	0	3,344	567	29	263	23,796
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	291



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

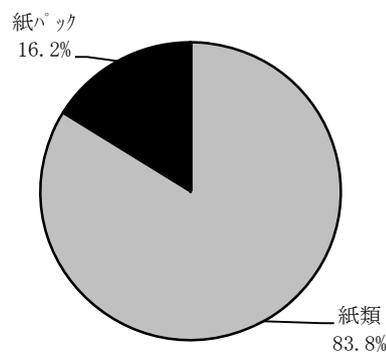


図4-4 集団回収の内訳

## <出雲地区>

当地区における資源化の状況を表4-3、市町村による資源化の内訳を図4-5、集団回収の内訳を図4-6に示す。

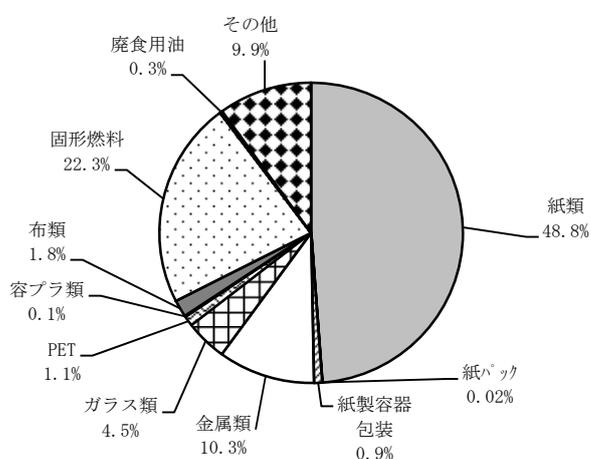
平成22年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は16,128tであった。その内、紙類が7,872t(48.8%)で最も多く、次に固形燃料3,590t(22.3%)、金属類1,665t(10.3%)であった。

また、集団回収により資源化された量は1,445tであり、紙類が1,300t(90.0%)とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	7,872	3	138	1,665	718	174	24	0
集団回収	1,300	2	0	110	9	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計(t/年)
市町村	295	0	0	3,590	0	45	1,604	16,128
集団回収	24	0	0	0	0	0	0	1,445



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-5 市町村による資源化の内訳

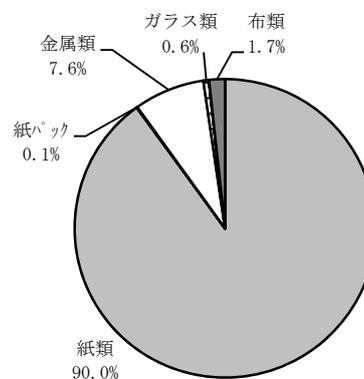


図4-6 集団回収の内訳

<浜田地区>

当地区における資源化の状況を表4-4、市町村による資源化の内訳を図4-7、集団回収の内訳を図4-8に示す。

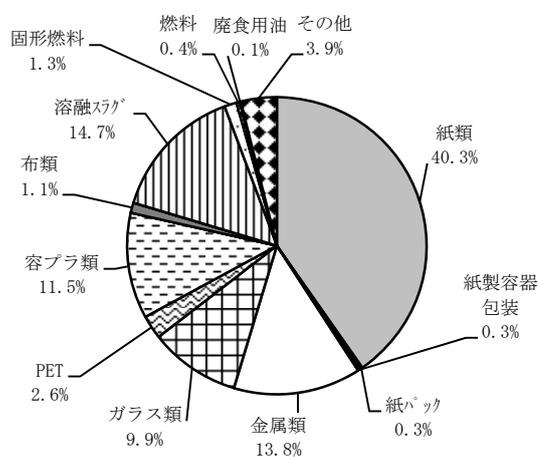
平成22年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は14,841tであった。その内、紙類が5,985t(40.3%)で最も多く、次に溶融スラグ2,176t(14.7%)、金属類2,043t(13.8%)であった。

また、集団回収により資源化された量は559tであり、紙類が481t(86.0%)とほとんどを占めた。

表4-4 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	5,985	41	39	2,043	1,462	380	1,710	0
集団回収	481	2	0	18	38	0	0	0

区分	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	燃料	廃食用油	その他	計(t/年)
市町村	164	0	2,176	194	0	56	14	577	14,841
集団回収	20	0	0	0	0	0	0	0	559



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-7 市町村による資源化の内訳

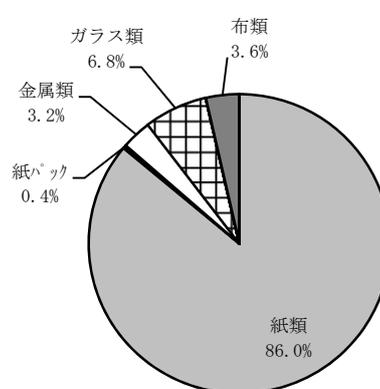


図4-8 集団回収の内訳

< 隠岐地区 >

隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-9 に示す。

平成 22 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 662t であった。その内、紙類が 309t (46.7%) で最も多く次に金属類 242t (36.6%)、ガラス類 60t (9.1%) であった。

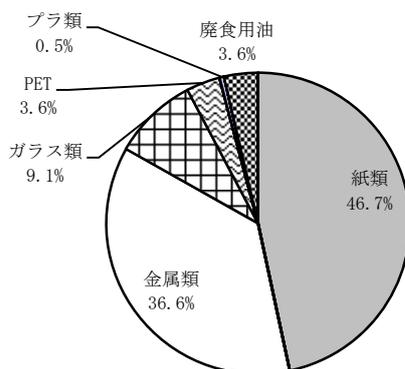
なお、集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

区 分	紙類	紙パック	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類
市町村	309	0	0	242	60	24	0	3

区 分	布類	肥料	溶融 スラグ	固形 燃料	焼却灰・飛 灰のセメン ト原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	0	0	0	0	0	24	0	662



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-9 市町村による資源化の内訳

## 5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

平成22年度（平成23年1月31日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況（生活系、事業系）について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

生ごみ堆肥化装置の設置助成や不法投棄関連事業に予算が多く使われている。

表5-1 平成22年度（平成24年1月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業

事業類型	事業名	自治体数	当初予算額(千円)
啓発資料作成等	パンフレット作成	5	5,955
	キャンペーン用啓発資材作成	1	124
イベント等の開催	イベントの開催	8	6,573
	環境アンテナショップ設置事業	1	4,200
ごみ減量化に関する助成	廃棄物減量化等協議会開催	4	1,334
	資源ごみ団体回収への助成	5	6,329
	生ごみ堆肥化装置の設置補助	8	7,456
	資源ごみ回収機器の貸出	1	0
啓発事業等	不法投棄防止事業	13	12,577
	資源ごみ拠点回収	1	710
合計		-	45,258

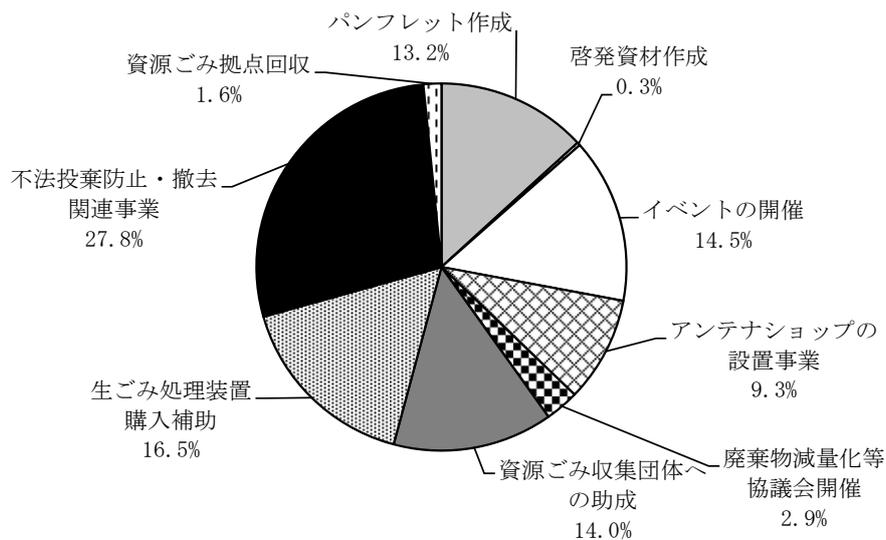


図5-1 平成22年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成23年度(平成23年1月1日現在)

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45ℓ	10/20/30/40円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(水色)	20/30/45ℓ	14/16/19円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	20/30/45ℓ	14/16/19円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	緑 粗大シール	400×500mm	21/31.5/42円 250円(粗大シール)	中密度ポリエチレン
	〃		500×650mm		
	〃		700×800mm		
	不燃	青 粗大シール	300×420mm	10.5/21/31.5/ 42円 250円(粗大シール)	低密度ポリエチレン
	〃		400×500mm		
	〃		500×650mm		
資源	水色, 灰色 〃 橙	500×650mm	15.7円 21円 10.5円 15.7円	低密度ポリエチレン	
〃		700×800mm			
〃		400×500mm 500×650mm			
出雲市	可燃	半透明(乳白)	10/20/40ℓ	15/30/50円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(黄・赤)	20/40ℓ	30/50円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(無色)	20/40ℓ	5/10円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃(大)	半透明(黄色)	800×600/420mm	60円	高密度ポリエチレンローテンLL(柔軟材)10% 混入
	〃(小)	〃	700×540/350mm	40円	
	〃	〃	590×480/330mm	30円	
	不燃	半透明(薄色)	870×650/460mm	50円	低密度ポリエチレン
	資源	〃	700×550/390mm	30円	低密度ポリエチレン
大田市	可燃	透明(黄)	20/30/45ℓ	25/30/50円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	30/45ℓ	30/50円	低密度ポリエチレン
	資源	無色透明(白)	30/45ℓ	15/20円	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	25/35/45円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(無色)	15/30/45ℓ	25/30/35円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(無色)	15/30/45ℓ	25/30/35円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	15/20/30円	高密度ポリエチレン
雲南市	可燃	半透明(黄)	20/40ℓ	30/44円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	乳白色に青字	30/45ℓ	無料	高密度ポリエチレン
	不燃	透明に青字、緑 字、黄色字	45ℓ	無料	低密度ポリエチレン
	資源	透明に赤字	45ℓ	無料	低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63円	フェノキサイト入ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	30/45ℓ	32/42円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	30/45ℓ	32/42円	高密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白)	15/35ℓ	31.5/63円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
	粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157円/1シート5枚	紙

注) 1. 材質は市町村の調査結果を記載している。

2. 一定枚数無料配布している自治体も含む。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成22年度(平成23年1月31日現在)

区分	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
市町村 美郷町	可燃	半透明(白)	15/35ℓ	31.5/63円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
	粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157円/1シート5枚	紙
邑南町	可燃	半透明(白)	15/35ℓ	31.5/63円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
	粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157円/1シート5枚	紙
津和野町	可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン
	資源(容包プラ)	透明(桃色文字)	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン
	(商品プラ)	透明(黄文字)			
	(缶類)	透明(黒文字)			
(びん類)	透明(青文字)				
吉賀町	可燃	半透明(赤字)	800×600mm	50円	高密度ポリエチレン
	〃	〃	650×500mm	33.3円	
	不燃(ビン)	半透明(青字)	400×600mm	50円	高密度ポリエチレン
	(カン)	半透明(黒字)	650×800mm	〃	
	資源(容プラ)	半透明(ピンク字)	650×800mm	50円	
(商プラ)	半透明(黄字)	〃	〃	高密度ポリエチレン	
海士町	可燃	チケット		70円	紙
	不燃	チケット		70円	紙
	資源	チケット		70円	紙
		半透明(黄)	800×650mm	〃	ポリエチレン(酸化鉄配合)
知夫村	可燃	透明(薄黄色)	15/20/30	30/60/100円	フェコサイト
	不燃	券		200/1000円券	
	資源(ビン)	透明(薄黄色)	30ℓ	140円	フェコサイト
	資源(カン)	〃	45ℓ	140円	
	資源(ペット)	〃	30/45ℓ	70/140円	
隠岐の島町	可燃	チケット(2色刷)	10kg以内/枚	100円	上質紙90kg 玉紙+針金#30(20mm)
	不燃	チケット(2色刷)	10kg以内/枚	100円	上質紙90kg 玉紙+針金#30(20mm)
	資源	半透明	690×550mm	無料	高密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギー センター)	可燃	半透明(オレンジ)	20/40ℓ(手さげ型)	30/44円	高密度ポリエチレン0.025mm
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.04mm
	資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.04mm
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーン センター)	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
邑智郡総合 事務組合	可燃	半透明(白)	15/35ℓ	31.5/63円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
	資源(包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
	粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157円/1シート5枚	紙
鹿足郡不燃物 処理組合	不燃	半透明	45ℓ	50円	高密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成23年度(平成24年1月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
松江市		可燃	半透明(白)	30/45ℓ	自由設定	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄)	30/45ℓ	自由設定	低密度ポリエチレン
浜田市		可燃	黄	800×700mm	84円	中密度ポリエチレン
		不燃	桃	800×700mm	84円	低密度ポリエチレン
		資源	茶	800×700mm	42円	低密度ポリエチレン
出雲市		可燃	半透明(乳白)	40ℓ	120円	高密度ポリエチレン
		不燃	透明(黄・赤)	40ℓ	120円	低密度ポリエチレン
益田市		可燃	半透明(黄)	800×600/420mm	100円	高密度ポリエチレン
大田市		可燃	半透明(緑)	45ℓ	100円	高密度ポリエチレン
安来市		可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45ℓ	25/35/45円 100円	高密度ポリエチレン
		不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45ℓ	25/30/35円 100円	低密度ポリエチレン
江津市		可燃・不燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	15/20/30円	高密度ポリエチレン
奥出雲町		可燃	乳白色に青字	30/45ℓ	無料	高密度ポリエチレン
		不燃	透明に青字、緑字、黄色字	45ℓ	無料	低密度ポリエチレン
		資源	透明に赤字	45ℓ	無料	低密度ポリエチレン
飯南町		可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63円	フェニキサイト入ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	30/45ℓ	32/42円	高密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	30/45ℓ	32/42円	高密度ポリエチレン
津和野町		可燃	オレンジ	20/45ℓ	30/50円	高密度ポリエチレン
		資源(容づら) (商品づら) (缶類) (びん類)	桃	20/45ℓ	30/50円	高密度ポリエチレン
			黄	〃	〃	〃
			黒緑	〃	〃	低密度ポリエチレン
			青緑	〃	〃	〃
吉賀町		可燃	半透明(赤字)	800×600mm	50円	高密度ポリエチレン
		〃	〃	650×500mm	33.3円	〃
		不燃(ビン) (カン)	半透明(青字)	400×600mm	50円	高密度ポリエチレン
			半透明(黒字)	650×800mm	〃	〃
		資源(容づら) (商づら)	半透明(オレンジ字)	650×800mm	50円	高密度ポリエチレン
半透明(黄字)	〃		〃	〃		
海士町		可燃	チケット		70円	紙
		不燃	チケット		70円	紙
		資源	チケット 半透明(黄)	650×800mm	70円 〃	紙 ポリエチレン(酸化鉄配合)
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギー センター)		可燃	半透明(オレンジ)	20/40ℓ(手さげ型)	30/44円	高密度ポリエチレン0.025mm
		不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.04mm
		資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.04mm
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーン センター)		可燃	半透明(黄)	30/45ℓ 20/40ℓ	42/63円 30/44円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ処理機等の購入に対する補助(平成23年度)

市町村名	補助基準	備 考
松江市	補助率 1/3、上限 100 万円	事業者
浜田市	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
出雲市 (斐川地区)	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/2、上限 20 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり2基まで)
益田市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 15 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
大田市	補助率 1/2、上限 3 千円	1世帯当たり2基まで
安来市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 25 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
斐川町	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/2、上限 10 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり2基まで)
川本町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
津和野町	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
西ノ島町	補助率 1/2、上限 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、上限 10 千円(町外購入)	1世帯当たり1基まで

## 6. し尿処理の概要

### (1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 22 年度における県内の水洗化人口は、544,249 人(75%)、非水洗化人口は、177,880 人(25%)である。水洗化人口は前年の約 1.4%増で、平成 18 年度と比べると約 6.0%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
総人口(人)	744,794	739,982	732,013	728,413	722,177
水洗化人口(人)	513,519	519,728	535,349	536,519	544,297
下水道人口(人)	226,078	238,931	252,546	254,405	261,788
コミュニティ・プラント人口(人)	5,160	4,588	4,644	4,608	4,538
浄化槽人口(人)	282,281	276,209	278,159	277,506	277,971
非水洗化人口(人)	231,275	220,254	196,664	191,894	177,880
計画収集人口(人)	221,134	211,251	190,201	186,836	172,756
自家処理人口(人)	10,141	9,003	6,463	5,058	5,124
総処理量(kℓ/年)	318,213	310,896	304,095	301,390	288,040
し尿計画処理量(kℓ/年)	140,141	131,573	123,798	118,747	111,061
自家処理量(kℓ/年)	6,964	5,684	3,885	3,461	2,748
浄化槽汚泥量(kℓ/年)	171,108	173,639	176,412	179,182	174,231

注) 総人口=水洗化人口+非水洗化人口  
 水洗化人口=下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口  
 非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

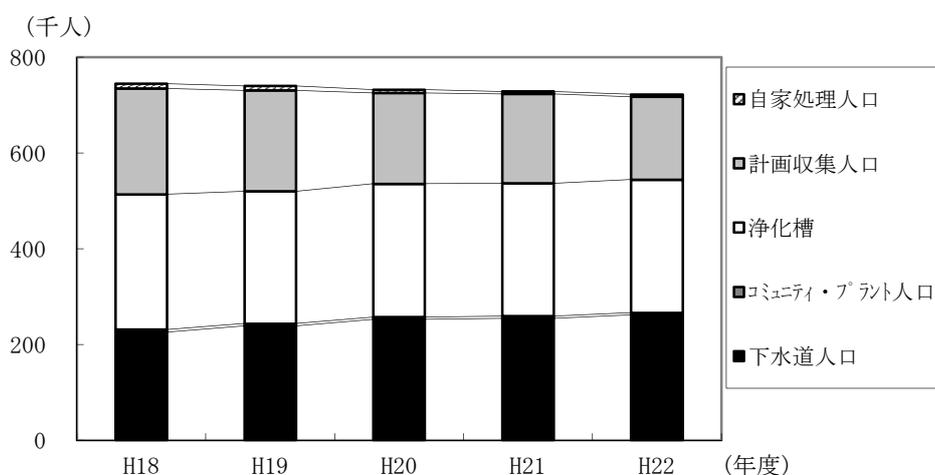
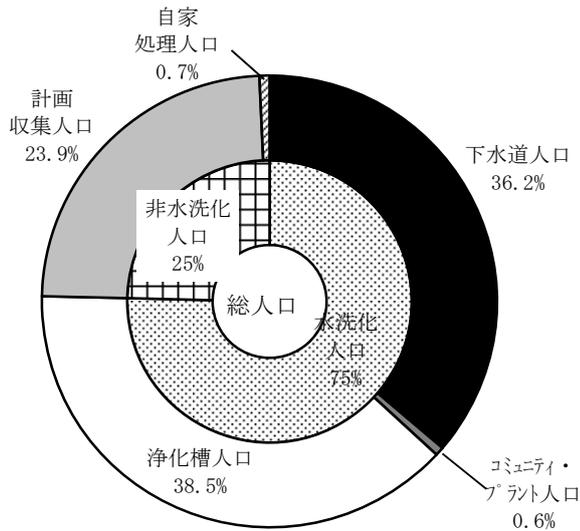


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口=水洗化人口+非水洗化人口  
 水洗化人口=公共下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口  
 非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

平成22年度における県内の総処理量は、288,040klで、前年より約4.4%減少している。内訳は浄化槽汚泥量が60.5%、し尿処理量が38.6%、自家処理量1.0%となっている。1人1日当たりし尿処理量は1.76ℓ/人・日、浄化槽汚泥処理量は1.69ℓ/人・日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		平成22年度
総処理量 (kl/年)		288,040
内訳	し尿計画処理量	111,061
	自家処理量	2,748
	浄化槽汚泥量	174,231
し尿計画処理量 (kl/年)		111,061
内訳	下水道投入	174
	し尿処理施設	110,857
	農村還元	30
浄化槽汚泥処理量 (kl/年)		174,231
内訳	下水道投入	589
	し尿処理施設	173,554
	農村還元	88
1日1人当たりし尿処理量 (ℓ/人・日)		1.76
1日1人当たりし尿排出量 (ℓ/人・日)		1.75
1日1人当たり浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日)		1.69

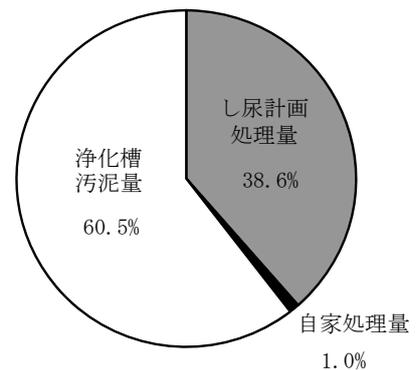


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kl/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥処理量  
 1人1日当たりし尿計画処理量 (ℓ/人・日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>  
 1人1日当たりし尿排出量 (ℓ/人・日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>  
 1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 365日 × 10<sup>3</sup>

### (3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

平成 22 年度の県内のし尿処理施設数は 12 施設（処理能力 856kl/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 8 施設（計画最大汚水量 2,334m<sup>3</sup>/日）である。

浄化槽設置数は合計 68,268 基で、去年より 583 基増加している。

平成 22 年度の浄化槽設置基数(個人設置型)は 620 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設						コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	高負荷一次処理	合計	
処 理 方 式							
施 設 数	1	2	5	3	1	12	8
規 模 (k l / 日)	40	117	268	361	70	856	2,334

注1) 好二段……好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式  
 標脱…標準脱窒素処理方式（旧低二段）  
 高負荷……高負荷脱窒素処理方式  
 膜分離…膜分離処理方式  
 一次処理…一次処理後に下水道に放流

注2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m<sup>3</sup>/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

区 分	浄 化 槽 設 置 基 数				
	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
規 模					
設 置 数	67,270	790	111	97	68,268

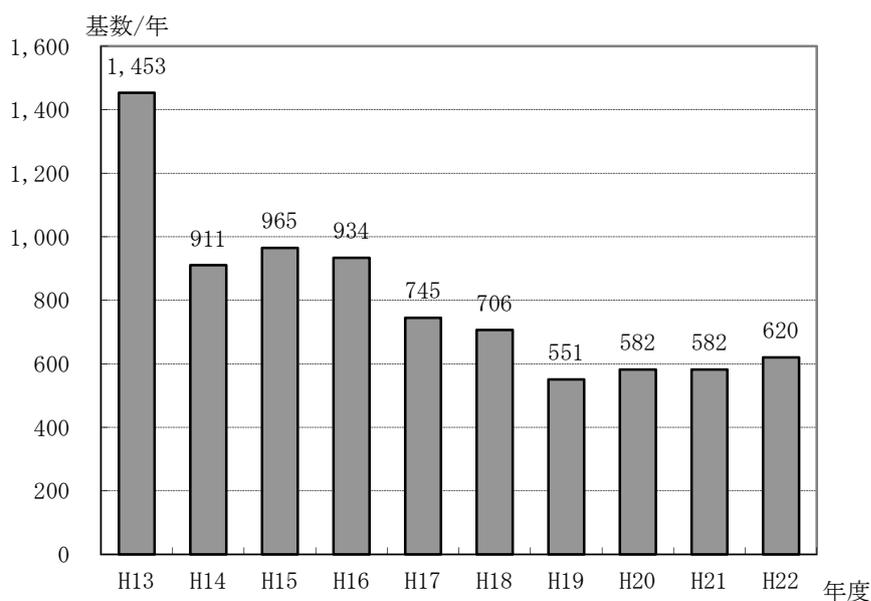


図6-4 浄化槽設置基数（個人設置型）の推移

## 7. 一般廃棄物処理事業の実態

### 7-1 廃棄物処理事業経費の概要

#### (1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

平成 22 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 21,486,465 千円であり、前年より約 18%増加している。経費の内訳はごみ処理が 19,309,786 千円、し尿処理が 2,176,679 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

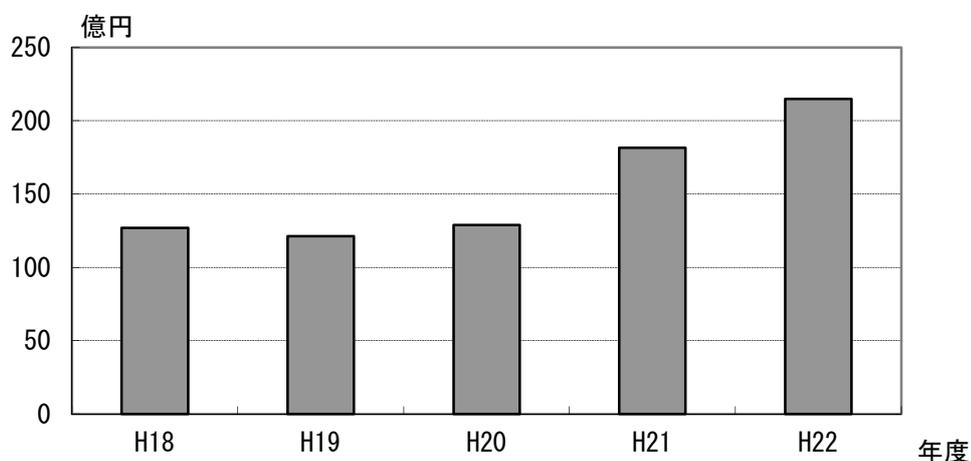


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(県全体)

#### (2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、松江地区が 10,677,001 千円 (55.3%) と最も多く、次いで浜田地区 2,518,740 千円 (28.8%)、出雲地区 5,553,075 千円 (13.0%)、隠岐地区 560,970 千円 (2.9%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(県全体)

(平成 22 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	2,464,236	11,308	5,549,500	1,745,427	1,970,156	1,842,434	7,696,881	19,309,786
し尿	180,934	0	388,390	228,669	347,981	76,020	1,302,666	2,176,679
計	2,645,170	11,308	5,937,890	1,974,096	2,318,137	1,918,454	8,999,547	21,486,465

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(県全体)

(平成 22 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費										その他	合計		
	工事費				調査費	(組合) 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				(組合) 分担金			調査 研究費	小計
	収集運搬	中間処理	最終処分	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	8,791,889	1,515,961	5,198	22,935	240,545	10,335,983	1,973,360	64,730	1,225,579	146,021	48,766	2,006,739	2,645,966	209,333	48,373	1,729,611	28,386	8,397,253	576,550	19,309,786
し尿	0	589,388	0	0	7,883	0	597,271	282,595	7,556	655,948	0	0	62,736	506,826	3,673	10,881	347,981	2,916	1,533,131	46,277	2,176,679
計	0	9,381,277	1,515,961	5,198	30,818	240,545	10,933,254	2,255,955	72,286	1,881,527	146,021	48,766	2,069,475	3,152,792	213,006	59,254	2,077,592	31,302	9,930,384	622,827	21,486,465

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

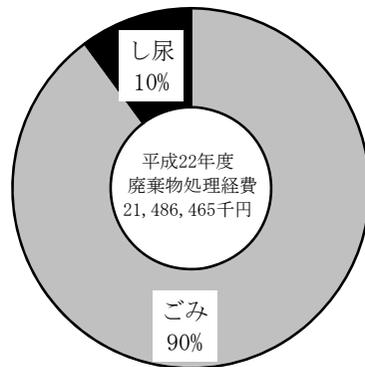


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳(県全体)

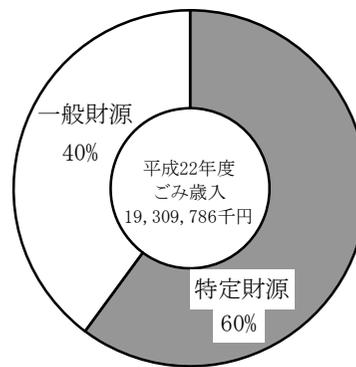


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(県全体)

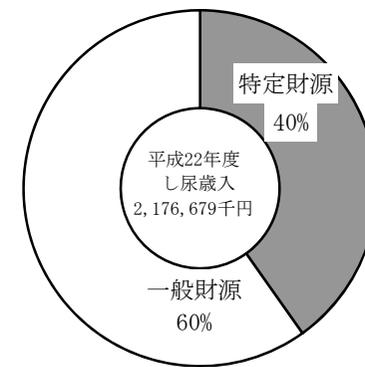


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳(県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村) (平成 22 年度, 単位 : 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び 手数料	その他		
ごみ	2,464,236	11,308	5,075,600	1,522,764	1,790,412	7,655,077	18,519,397
し尿	180,934	0	388,390	193,835	55,975	1,288,770	2,107,904
計	2,645,170	11,308	5,463,990	1,716,599	1,846,387	8,943,847	20,627,301

表 7-4 歳出の内訳(市町村) (平成 22 年度, 単位 : 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				組合 分担金	調 査 研 究 費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	8,076,848	1,515,471	5,198	22,935	240,545	9,860,997	1,669,750	62,683	962,905	138,159	48,766	1,831,647	1,563,642	202,494	44,818	1,729,611	3,591	8,258,066	400,334	18,519,397
し尿	0	568,094	0	0	7,883	0	575,977	178,390	0	471,286	0	0	59,707	436,707	0	10,881	347,981	1,735	1,506,687	25,240	2,107,904
計	0	8,644,942	1,515,471	5,198	30,818	240,545	10,436,974	1,848,140	62,683	1,434,191	138,159	48,766	1,891,354	2,000,349	202,494	55,699	2,077,592	5,326	9,764,753	425,574	20,627,301

表 7-5 歳入の内訳(事務組合) (平成 22 年度, 単位 : 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び 手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	0	0	473,900	222,663	1,970,156	52,022	41,804	2,760,545
し尿	0	0	0	34,834	347,981	20,045	13,896	416,756
計	0	0	473,900	257,497	2,318,137	72,067	55,700	3,177,301

表 7-6 歳出の内訳(事務組合) (平成 22 年度, 単位 : 千円)

歳出	建設・改良費																調査 研究費	小計	その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費								
	収集 運搬	中間処理	最終処分	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	715,041	490	0	0	715,531	303,610	2,047	262,674	7,862	0	175,092	1,082,324	6,839	3,555	24,795	1,868,798	176,216	2,760,545	
し尿	0	21,294	0	0	0	21,294	104,205	7,556	184,662	0	0	3,029	70,119	3,673	0	1,181	374,425	21,037	416,756	
計	0	736,335	490	0	0	736,825	407,815	9,603	447,336	7,862	0	178,121	1,152,443	10,512	3,555	25,976	2,243,223	197,253	3,177,301	

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）（平成 22 年度, 単位：千円）

歳入	特 定 財 源						一般財源	合計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
松江地区	1,806,865	1,990	4,865,400	554,628	0	1,099,204	2,348,914	10,677,001
出雲地区	80,535	9,318	150,000	684,982	439,337	370,825	1,223,080	2,518,740
浜田地区	504,739	0	492,400	411,906	1,530,819	354,474	3,789,556	5,553,075
隠岐地区	72,097	0	41,700	93,911	0	17,931	335,331	560,970
合計	2,464,236	11,308	5,549,500	1,745,427	1,970,156	1,842,434	7,696,881	19,309,786

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）（平成 22 年度, 単位：千円）

歳出	建設・改良費								処理及び維持管理費											その他	合計
	工事費				調査費	(組合分担金)	小計	人件費	処理費			車輛等購入費	委託費				(組合分担金)	調査研究費	小計		
	収集運搬	中間処理	最終処分	その他					収集運搬費	中間処理費	最終処分費		収集運搬費	中間処理費	最終処分費	その他					
松江地区	0	7,545,824	21,102	0	0	0	7,566,926	877,491	18,012	348,630	71,193	36,978	805,147	796,948	11,140	0	0	3,591	2,969,130	140,945	10,677,001
出雲地区	0	45,675	178,007	5,198	0	0	228,880	370,635	9,995	512,184	41,554	0	555,917	505,435	68,487	41,568	439,337	0	2,105,775	184,085	2,518,740
浜田地区	0	1,133,229	1,316,852	0	22,935	240,545	2,473,016	541,677	18,688	235,644	17,881	10,681	630,783	1,248,743	119,394	6,170	1,290,274	24,795	2,854,456	225,603	5,553,075
隠岐地区	0	67,161	0	0	0	0	67,161	183,557	18,035	129,121	15,393	1,107	14,892	94,840	10,312	635	0	0	467,892	25,917	560,970
合計	0	8,791,889	1,515,961	5,198	22,935	240,545	10,335,983	1,973,360	64,730	1,225,579	146,021	48,766	2,006,739	2,645,966	209,333	48,373	1,729,611	28,386	8,397,253	576,550	19,309,786

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

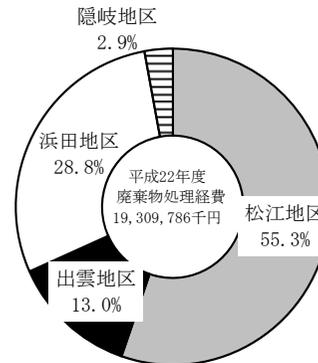


図 7-5 地区別の内訳

## 7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。  
平成 22 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 347 人である。  
内訳は、ごみ処理が 305 人、し尿処理が 42 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一般職	事務系	127	10	8	5	135	15	150
	技術系	57	13	12	9	69	22	91
技能職	収集・運搬	48	0	0	0	48	0	48
	中間処理	23	13	4	0	27	13	40
	最終処分	12	1	0	0	12	1	13
	その他	1	0	4	0	5	0	5
合 計		268	37	28	14	296	51	347

## 7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。  
平成 22 年度末における委託・許可件数は市町村では 373 件、事務組合では 55 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況 (単位:件数)

区 分	区 分		市町村	事務組合
	委託業(法第6条)	許可業(法第7条)		
ごみ	委託業(法第6条)		90	17
	許可業(法第7条)		207	38
し尿	委託業(法第6条)		4	0
	許可業(法第7条)		72	0
合 計			373	55

## 7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 22 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11, 12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ごみ	し尿	合 計
業者数	132	45	167

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	1,641	232	20	1,882

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

## 8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵方式	ダイオキシン類濃度測定値 (ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )				
		今回調査結果 (H21. 4. 1～ H22. 3. 31)	(H20. 4. 1～ H21. 3. 31)	(H19. 4. 1～ H20. 3. 31)	H14. 12. 1 からの 排出基準	備考
松江市 南工場 北工場 エコクリーンセンター	BF EP BF	0.022 0.097 0.042 -	0.0068 0.062 0.016	0.0045 0.042 0.091	1.0	新設
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	0.047 0.32	0.24 0.14	1.6 0.92	5.0	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	0 0.00059	0.000075 0.000022	0.00093 0.00000047	0.1	
邑智郡総合事務組合 笹畑クリーンセンター	BF	2.3	0.9	0.29	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	0.0045 0.0064	0.0011 0.0062	0.0094 0.0041	1.0	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	0.0014 0.0000052	0.0014 0.0000052	0.0033 0.0000013	5.0	
隠岐の島町 清掃センター	BF	1.1	3.5	2.1	10	
海士町 海士町清掃センター	BF	0.13	0.14	0.77	5.0	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	0.48	0.37	0.4	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	0.089	0.064	0.25	—	ごみ燃料 化施設
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	1.0	1.9	1.5	10	

注) 集塵方式において、EP=電気集じん器, MC=マルチサイクロン, CC=キャスタブル成形サイクロン, BF=バグフィルター, \* =二次燃焼重力沈降方式。